

## 平成 12 年度第 2 回常任幹事会

日 時：平成 12 (2000) 年 11 月 10 日 (金)

13:30~17:00

場 所：日本光学会資料室

出席者：岩田幹事長，以下 15 名

議 事：

### 1. 前回幹事会議事録に関する質問事項

- ・前回議事録に関する質問等はなく，議事録は承認された。

### 2. 報告事項

#### 2-1. 編集委員会報告

##### (1) 「光学」編集委員会報告

- ・「光学」は順調に発刊している。
- ・「光学」の査読者 2 名制が 11 月 8 日付けで実施となった。査読者の判断が 1 対 1 の場合，編集者が判断する。編集者による判断が難しい場合には，査読者 1 名を新たに依頼し判断する。
- ・依頼原稿による追悼文掲載等に関しての基準を明確にしてほしい。
- ・会員からの追悼文等の投稿については，編集委員会での掲載を判断する。

##### (2) 「OR」編集委員会報告

- ・「OR」は順調に発刊している。
- ・投稿数は昨年より若干減少しているが，海外（韓国，台湾）からの投稿は増えている。海外への雑誌の配布は少ないが，ホームページをみて投稿してきている。
- ・投稿分野としては，Optical System and Technology が増えている。
- ・ODF 2000 (11/15~17) の特集号を Vol. 8, No. 4 で企画し，1 月 10 日締め切りで論文を募集する。

#### 2-2. 講演会関連報告

##### (1) ICOSN 2001 進捗報告

- ・投稿は，SPIE の WEB にメールの添付書類で投稿しているケースが多く，SPIE 側で WEB に載せなおしているため，混乱している。

##### (2) Optics Japan 2000 結果報告

- ・実行委員会で作製した申し送り書は，幹事会で回覧。その後，次期実行委員に引き継ぐ。
- ・アンケートを行ったが，回収率は 36/313 と悪かった。
- ・実行レベルの引き継ぎが不十分であり，実行委員に負担がかかりすぎるため，光学会専属の事務員もしくは，そ

れに代わる手段の検討が必要。

### (3) サマーセミナー会計報告

- ・収支は赤字となった。次回の予算設定にあたっては，参加費の見直しや，宿泊・食事費の扱いについて再度検討する必要がある。
- ・セミナーの対象を誰（学生，研究者，…）にするか，明確にすべきであるとの意見があった。

### (4) 冬期講習会進捗報告

- ・講師の方々から承諾をいただいた。
- ・ポスターを制作したので，掲示をお願いする。またメールによる直接勧誘を行う。

#### 2-3. その他報告事項

##### (1) 協賛依頼

- ・2 件の協賛依頼（レーザー顕微鏡研究会第 26 回講演会，分子ナノエレクトロニクスとその周辺技術（応用物理学会関西支部））があった。

##### (2) 次期幹事候補者について

- ・前回幹事会での意見をふまえ，次期幹事候補を決定した。
- ・岩田幹事長，山口前幹事長，一岡「OR」編集委員長は規約に従って，再選挙とした。

##### (3) 光学論文賞について

- ・光学論文賞への応募者は 10 月 31 日の締め切り時点で 4 名であった。
- ・締め切りを 1 週間延長し，応募を呼びかけた結果，計 8 名と例年なみの応募者数となった。
- ・応募はすべて推薦であった。

##### (4) 日本光学会奨励賞について

- ・10 月 8 日に Optics Japan 2000 において授賞式ならびに記念講演を行った。また昼食会を開催した。

##### (5) 会員動静

- ・個人会員数は A, B ともに減少した。これは，応用物理学会の方針により会費未納者が削除されたため。
- ・特別会員を A, B, C に分けた形で記載していただいた。特 A は「光学」のみ，特 B は「OR」のみ，特 C は「光学」と「OR」を購読。

##### (6) カラーフォーラム JAPAN 2000 について

- ・カラーフォーラム JAPAN 2000 が 11 月 15~17 日に開催される。現状の参加者は 15 日のチュートリアルが 40 名，16 日からのフォーラムが 110 名。

### 3. 審議事項

#### (1) ICO 加盟について

- ・ICOの加盟について、Optics Japan 2000 のナイトセッションで一般会員に情報を提供してほしいとの申し入れがあり、幹事長判断でホームページに資料を掲載し意見を募集したが、メールはなかった。
- ・光学会の幹事から常任幹事会ではなく通常の幹事会で決定してほしいとの意見があった。
- ・加盟についての結論の締め切りは2001年9月のICO総会であるため、「光学」に、ホームページにICO加盟についての情報があることの案内、ならびにICOの説明(原則2ページ:朝倉前ICO会長に投稿依頼)を掲載し、会員へ情報を示した上で、幹事会で検討し、総会にて説明する。

#### (2) 光計測シンポジウムについて

- ・日本光学測定機工業会が主催する光計測シンポジウムの実行委員会から、日本光学会幹事会に対して協力依頼があった。
- ・日本光学測定機工業会には便宜を図ってもらっているため、できるだけ対応することを確認した。

#### (3) 予算案

- ・予算案を応用物理学会に申請した。
- ・新設した国際協力支援金の用途を旅費補助と投稿料補助として運用することを承認した。
- ・国際協力支援金の運用方法について、再度議論する。

#### (4) Optics Japan 2001 進捗状況

- ・運営体制、企画案について検討している。
- ・開催日時と場所について検討し、審議の結果、早稲田大学国際会議場で2001年11月5~7日で開催することが承認された。

#### (5) 光学会資料室について

- ・応用物理学会事務局から、資料室を応用物理学会のほかの委員会の会議場所として利用したいと申し入れがあった。
- ・貸し出しには異論はないが、使用頻度等の情報をもらい、光学会が優先的に使用できる環境を確保できる規程を考える。

#### (6) ホームページについて

- ・ホームページに会員へのお知らせ等を掲載する場所がないため、作製する。
- ・ホームページの更新ルール等を明確にする。
- ・Webmaster のアドレスを作る。
- ・英語版のホームページは「光学」に英文アブストラクトができた段階で考える。

次回幹事会は、1月12日(金) 13:30~ 機械振興会館

会議室

### 第162回光学会幹事会

平成13年1月12日(金)に機械振興会館研修1号室において開催されました。「光学」、「OR」の各編集委員会報告、冬期講習会、ICOSN 2001、光学シンポジウム、Optics Japan 2001、関西支部連合講演会の進捗、3次元画像コンファレンス、関西講演会、名古屋講演会、北陸信越講演会の結果等の講演会関連報告および審議、50周年記念企画、光学論文賞結果、平成13年度活動計画案、将来計画ワーキンググループの設置、韓国光学会との協定、ICO加盟、国際協力支援金の運用方法、光学会ホームページの運用等について報告および審議がなされました。また平成13年度幹事として、幹事会から推薦した候補者全員が、昨年末の選挙で選出されたことが報告されました。平成13年度常任幹事として、選出されたのは以下の方々です。

岩田耕一(大阪府大)	*中楯末三(東京工芸大)
大谷幸利(農工大)	*塩川孝紳(旭光学)
門野博史(埼玉大)	*大瀧達朗(ニコン)
中野隆志(融合研)	*竹ノ内弘和(NTT)
伊藤治彦(東工大)	*中井武彦(キャノン)
*堀 裕和(山梨大)	一岡芳樹(奈良高専)

(\*は新規常任委員)

なお、詳しい議事録は第30巻第5号に掲載予定です。

### 平成12年度第5回「光学」編集委員会

平成13年1月10日(水)、(財)日本学会事務センター会議室において開催されました。第30巻第8号~9号企画、30巻10号~12号、31巻1号の構想案について審議が行われました。また、新年度委員の交代にともなうトピカルエディターの交代、日本光学会創立50周年記念号進捗、特集外解説記事、日本光学会のICO加盟とさろん記事等について審議がなされました。そのほか、各号進捗状況、論文投稿・審査状況、会計等について報告がなされました。

### 平成12年度日本光学会総会

平成12年度総会を下記のとおり行いますので、会員の皆様はご出席くださるようお願いいたします。

日時:2001年3月29日(木)13:00~13:40

場所:第48回応用物理学関係連合講演会会場

明治大学駿河台キャンパスリパティタワー地下1階  
1001号室(A会場)

## 平成 12 年度光学論文賞

平成 12 年度 (第 42 回) 光学論文賞は栗木一郎氏 (科学技術振興事業団, 東京大学大学院) ならびに興梶元伸氏 (東京工業大学大学院総合理工学研究科) が受賞されることとなりました。受賞対象論文は次のとおりです。

栗木一郎氏:

I. Kuriki, Y. Oguma and K. Uchikawa: "Dynamics of Asymmetric Color Matching," *Opt. Rev.*, **7**, No. 3 (2000) 249-259.

興梶元伸氏:

M. Kouroggi, K. Imai, B. Widyatmoko, T. Shimizu and M. Ohtsu: "Continuous Tuning of an Electrically Tunable External-Cavity Semiconductor Laser," *Opt. Lett.*, **25**, No. 16 (2000) 1165-1167.

なお, 授賞式および記念講演は下記のとおり行われます。

日 時: 2001 年 3 月 29 日 (木)

日本光学会総会・論文賞授賞式 13:00~13:40

記念講演 13:40~15:00

場 所: 第 48 回応用物理学関係連合講演会会場明治大学駿河台キャンパスリパティタワー地下 1 階 1001 号室 (A 会場)

## 第 27 回光波センシング技術研究会論文募集

主 催: 応用物理学学会光波センシング技術研究会, ほか 8 学協会協賛 (依頼中)

期 日: 2000 年 5 月 30 日 (水), 31 日 (木)

場 所: 工学院大学 (東京・新宿)

論文募集内容: メインテーマ『検出系の非線形光学効果を用いた光センシング』

光波のコヒーレンスを利用した計測の大部分は, 線形な光電変換を検出に用いたものであるが, 光エレクトロニクス, 分光の分野においては古くからレーザー共振器, 利得媒質の非線形応答や共振器での光閉じ込め効果を利用した現象が知られている。

近年, そういった非線形応答を積極的に検出系において利用したセンシング方式が注目されている。

そこで本研究会では, レーザー, 非線形光学, 分光分野でのこれらの研究に着目し, 干渉, 偏光等を用いた光波センシング技術との融合の可能性を考える。

上記のメインテーマのほか, 従来のように, 光波センシングの基礎, 材料, デバイス, 光センサー応用領域の新しい適用分野/機器に関する発表を併せて募集する。

講演申込み方法: アブストラクトを下記事務局まで。

A 4 判 1~2 頁を郵送/Fax, またはテキスト 1000 文

字以内を E-mail で。発表者名, 共著者名, 連絡先 (住所, 電話/Fax, E-mail) を記入。

申込み締切: 3 月 10 日 (土) 必着

原稿締切: 5 月 9 日 (水) 必着。カメラレディ原稿 A 4 判 6~8 頁。

参加費: 11,000 円 (論文集合む)

事務局: 〒 161-0033 東京都新宿区下落合 3-17-42 (302)

連企画気付 福井峯朗

電話/Fax 03-3391-9587

E-mail: fukui@poem.ocn.ne.jp

URL: <http://www.jsap.or.jp/kenkyukai/index.html>

## 近接場光学研究グループ第 10 回研究討論会

主 催: 日本光学会 (応用物理学会) 近接場光学研究グループ

日 時: 2001 年 6 月 27 日 (水) 9:30~17:00

6 月 28 日 (木) 9:30~17:00

場 所: 大阪大学コンベンションセンター (大阪大学吹田キャンパス)

(1) 北大阪急行千里中央駅から阪急バス阪大本部前行き (所要 15 分)。阪大本部前下車, 徒歩 2 分

(2) 大阪モノレール阪大病院前駅 (彩都線) 下車, 徒歩 5 分

(3) 阪急千里線北千里駅, 東へ徒歩 20 分

(4) JR 茨木駅から近鉄バス阪大本部前行き (所要 20 分)。阪大本部前下車, 徒歩 2 分

講演募集内容: 近接場光学にかかわる話題 (NSOM, 超高密度光記録, 微粒子操作, 極微加工, 計測, 分光, 理論, 製品紹介等) についての一般講演, ポスターセッション, および「ナノ構造創成のための光メカトロニクス」のタイトルでシンポジウムを予定しています。すぐれた講演には「近接場光学賞」を贈呈いたします。

参加費: 日本光学会会員 2,000 円, 学生 500 円, その他 5,000 円

講演申込み方法: 2001 年 5 月 18 日 (金) までに講演題目, 講演者所属, 氏名, 連絡先住所, 電話番号, Fax 番号, E-mail アドレスを E-mail, もしくは Fax にて下記申し込み先までお申し込みください。

申込みおよび問合せ先:

大阪大学工学研究科応用物理学専攻 井上康志

〒 565-0871 吹田市山田丘 2-1

電話 06-6879-7847 Fax 06-6879-7330

E-mail: jinfo10@ap.eng.osaka-u.ac.jp

URL: <http://lasie.ap.eng.osaka-u.ac.jp/jnfo10.html>

### 平成 12 年度 KAST 終了プロジェクト報告会

財団法人神奈川科学技術アカデミー (KAST) では、科学技術の基盤充実を目指し、先端的かつ高度な研究を 5 年・3 年の時限プロジェクト方式によって展開しています。この度、3 月に終了をむかえる齋木「光極微機能」プロジェクトについて、3 年間の研究活動で得られた成果を、プロジェクトに参画した企業・大学の研究者も交えて総括的に報告いたします。

日 時： 3 月 19 日 (月) 13:30~17:30

場 所： かながわサイエンスパーク内 KSP ホール (川崎市高津区坂戸 3-2-1)

プロジェクト： 齋木「光極微機能」

主なテーマ：

「近接場ナノ構造分光の新展開」

松田一成 (KAST)

「バイオイメージングにおける分子群検出の意義」

辰巳仁史 (名古屋大・医)

「DVD 記録マークの定量的観察とその新しい読み出し法」

柚須圭一郎 (東芝)

参加費： 無料

問合せ先： 神奈川科学技術アカデミー研究部研究調整課

〒 213-0012 川崎市高津区坂戸 3-2-1 KSP 西 614

電話 044-819-2034 Fax 044-819-2026

### 「光三次元計測技術の新展開」公開セミナー

日 時： 平成 13 年 4 月 12 日 (木) 9:40~16:50

会 場： 機械振興会館地下 3 階研修 1 号室 (東京都港区芝公園 3-5-8)

主 催： 社団法人日本オプトメカトロニクス協会

プログラム：

「光三次元計測技術の現状と将来動向」

吉澤 徹 (東京農工大)

「実時間三次元画像計測」

桑島茂純 (ビュープラス)

「ガラス基板のフラットネス計測」

藤原久利 (山武)

「半導体産業における三次元計測」

石原満宏 (高岳製作所)

「自動車産業における三次元計測」

林 洋一 (オプトン)

参加費： 一般 25,515 円, 正会員 15,330 円, 賛助会員 19,425 円, 協賛 19,425 円, 学生 4,095 円

問合せ先： 社団法人日本オプトメカトロニクス協会

東京都港区芝公園 3-5-22 機械振興会館別館

電話 03-3435-9321

定 員： 120 名

### 訂 正

「光学」第 29 巻第 10 号から 30 巻 1 号までの「光学関連会合予定」欄において間違いがありました。

1) 第 2 回日本光学会・SPIE 合同国際会議 (6 月 6~8 日) の問合せ先の防衛大学・高橋信明先生の E-mail アドレスに間違いがありました。

(誤) tak@cc.uda.ac.jp (正) tak@cc.nda.ac.jp

2) ICOSN 2001 サテライト会議 (6 月 11 日) の問合せ先に大阪大学・伊東一良先生と古河電工・中村一則氏の 2 名が記載されていますが、大阪大学・伊東一良先生のみ間違いです。

以上 2 点訂正してお詫び申し上げます。

(庶務幹事 米山修二)

日本光学会 *news* の掲載申込み先：

〒226-8502 横浜市緑区長津田町 4259 番地 東京工業大学大学院総合理工学研究科電子機能システム専攻 伊藤治彦 電話 045-924-5459 Fax 045-924-5487 E-mail: ito@ae.titech.ac.jp

なお、掲載申込みは原則として発行日 (10 日) から 2 か月前の 15 日まで、開催日が 1~10 日の場合は、開催日の 3 か月前の 15 日までをお願いします。

---

日本光学会平成12年度幹事 (\*常任幹事)

幹事長：	岩田 耕一* (大阪府立大)	
副幹事長：	松本 弘一* (計量研)	
前幹事長：	山口 一郎 (理研)	
庶務幹事：	佐藤 裕志* (コニカ)	大谷 幸利* (農工大)
	埜田 友也* (ニコン)	門野 博史* (埼玉大)
	石渡 裕* (オリンパス)	小野寺理文* (能開大)
	中野 隆志* (融合研)	米山 修二* (旭光学)
	伊藤 治彦* (東工大)	
『光学』編集幹事：	大坪 順次* (静岡大)	堀 裕和 (山梨大)
	尾松 孝茂 (千葉大)	中川 清 (神戸大)
『OPTICAL REVIEW』編集・出版幹事：	一岡 芳樹* (奈良高専)	山口 一郎 (理研)
国際協力幹事：	芳野 俊彦 (群馬大)	高橋 信明 (防衛大)
将来問題担当幹事：	中楯 末三 (東京工芸大)	
企画・事業担当幹事：	亀丸 俊一 (北見工大)	坂田 肇 (キャノン)
	山田 秀則 (富士ゼロックス)	本宮 佳典 (東芝)
	高梨 健一 (リコー)	天野 主税 (NTT)
	橋本 信幸 (シチズン時計)	岡井 誠 (日立)
	森 峰生 (鈴鹿医療科学大)	羽根 一博 (東北大)
	大高 真人 (福井大)	佐々木修己 (新潟大)
	藤原 巧 (長岡技科大)	塩野 照弘 (松下電器)
	財部 健一 (岡山理科大)	森 邦彦 (鹿児島大)

---